

秋田駅中央改札口付近において 市街地木質化実証モデル事業を行います

- 秋田駅中央改札口付近が、秋田杉を用いた木材を基調とするデザインになります。
- 秋田県の研究助成を受けて秋田公立美術大学が行い、JR東日本及びグループ会社が協力します。

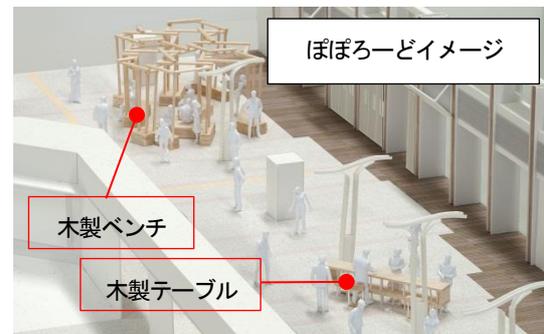
1 概要

秋田公立美術大学では秋田県から研究助成を受け、公共施設等への県産材の利用促進の可能性を調査する「市街地木質化実証モデル事業」^(※1)研究を進めています。

今回、同大学からJR東日本及びグループ会社^(※2)への協力依頼を受け、秋田駅中央改札口付近が、秋田杉を用いた木材を基調とするデザインになります。

2 場所及び実施内容等

秋田駅中央改札口付近の一部を木材基調とするデザインに変更するとともに、「ほぼろーど（秋田駅東西連絡自由通路）」に木製のベンチやテーブルを設置し、人々が自由に利用し滞留できる憩いのスペースをつくります。



写真提供：秋田公立美術大学

3 実証期間

4月1日から1年間（予定）

(※1)市街地木質化実証モデル事業

県産材の利用推進の一環として公共性の高い空間に実証モデルを設置し、都市の利用者である一般市民に体験してもらうことで、市街地での木質化や木造化の可能性を広く普及し、新たな地域木材の需要を喚起、促進することを目的とした事業

(※2)グループ会社

(株)JR東日本リテールネット、(株)日本レストランエンタプライズ